

みんな笑顔で あったかす

みんなの議会

5

2012

3月定例会号



鷹栖小学校

小学校入学式

4月5日、新1年生が期待と不安を胸に入学しました。



鷹栖小学校

■第1回定例会

執行方針質疑・予算審査特別委員会・一般質問

■第1回臨時会／第2回臨時会／第3回臨時会

■わたしの一言



北野小学校

第1回定例会

第1回定例会は、3月7日から8日間の会期をもって開催され、平成24年度の町政の執行方針及び教育行政執行方針の報告を受けた後、3名の議員が一般質問を行い、町長の考えをいただきました。

議事は、補正予算、規約の変更、条例の改正および平成24年度の7会計予算を審議し、原案のとおり可決しました。また、人事案件について同意し、3月14日に閉会しました。



町長・教育長の 執行方針に対する質疑



- 次代へつなぐ活力ある産業の創造
- 助け合いと生涯元気なまちづくり
- うるおいのある快適な生活環境づくり
- 人を育みだれもが学べる環境の充実
- つながりある地域づくりと健全な行政運営

平成24年度
まちづくりの方針

Q. 藤澤議員

町単独では難しかった農地の団地化集積が、「人・農地プラン」により国の事業として始まります。対象にならない部分は町独自の措置を行います。この事業の年次計画を伺います。

Q. 中村議員

町長は過去の一般質問で、自殺予防研修会を新年度で予定したいと答弁されました。民生委員や福祉委員等に、※ゲートキーパーの講習を受けていただくなど、具体的な考えがあれば伺います。

答弁 国の政策に合わせつつ、「地域農業マスタープラン」をベースに、国の動向を見極めながら、足りない部分を応援し進めていきたい。

財源面もありますし、一応24年度を一区切りとして、今後については意見を重ねながら、皆さんと一緒に考えたいと思います。

答弁 相談業務では「いのちの電話」があり、研修会も保健所などの協力をいただき開催を予定しています。

また「お互い様」づくりという形で、地域福祉実践計画についても福祉関係の方で協議いただいています。

※ゲートキーパー
悩んでいる人に気づき、声を掛け、見守る人のこと。

Q. 大石議員

障がいのある方の社会参加を積極的に進めるため「緊急雇用創出推進事業」を活用し、新たに「障がい者就労支援事業」に取り組みとしていますが、具体的な考えを伺います。

答弁 障がい者の就労支援という形で、緊急雇用推進事業を利用して、農業を核とした障がい者の働ける場や環境を作っていきたい。指導者や担当する職員も必要かと思えます。

障がい者の気持ちを理解しながら、就労の新しい展開も生み出していければと考えています。

Q. 辻本議員

パレットヒルズの開発・造成について、地域のまちづくり懇談会では、町のお金は使わないでほしいといった意見が大半だったように思います。

今後の開発・造成計画について伺います。

答弁 パークゴルフ場については、3年間の試行が終わる今年中に今後の管理運営について示していきたいと思えます。

パレットヒルズは、町有地として購入し、歴代町長が展開してきたという経緯と意思を、継続した中で受け止めたい。全体の計画については町民に提示しながら選択していく考えです。

Q. 新田議員

パレットヒルズは、未来の子どもたちに残すべきものと考えますが、開発に対しては賛成・反対があつて当然と思えます。ただ、イベントなどを通して多くの町民に足を運んでもらい、現状把握した中で開発すべきか賛否を問うようにしてほしい。

答弁 より具体的な形で、年次の開発計画も提示しながら、町民にとって親しみのある場所に変えていきたいと考えています。補助

金・交付金の活用となれば、「公園」としての条例整備も議論していただき、判断したいと思えます。

Q. 植西議員

「地域や家庭における連帯感が薄れつつある中、地域における人と人とのつながりや支え合い、助け合う気持ちが必要」とありますが、地域の過疎化で連帯意識が薄くなったと思えます。町長が進めようとする「お互い様」の考えと、住民の「幸福度」がどのようにつながっていくのですか。

また、各地域にリーダー的存在が少なくなっていると思えますが、どのように養成していくのか伺います。

答弁 執行方針では、一般社会的には連帯感が薄れていると表現をしましたが、鷹栖町はまだまだ連帯感の強い町です。安心しています。安んじていけます。互い様をどう認識し、

みんなで協力し合うかが重要と考えます。

福祉団体の方を中心に、どうしたら「お互い様」づくりを深める環境になるか議論いただきたい。町民の多くの皆さんが笑顔になる町に到達できれば「幸福度」にもつながると思えます。

また、リーダーは、決して少ないとは思いません。そういった人達を発掘することを心がけ、いろいろな研修に参加していただき、リーダーを養成したいと思えます。



町政の執行方針

町長への質疑

教育行政執行方針

教育長への質疑



子どもの豊かな
学びの創造

学校教育

Q. 神田議員

現在、学校給食には鷹栖産米を使用しています。米粉などの新規需要米についても試験的に取り組みたいと言っていました。今後についてはどのような方向付けをしていくのですか。

答弁 米粉を使ったパンを

今まで何度か取り入れていきます。24年度についても、米麦改良協会などに協力をいただきながら、提供できるように考えています。ただ、米粉パンへの移行は、単価的な問題もあり、今のところ考えていません。

Q. 坂根議員

特別支援教育について「相談体制の充実・強化」とあります。就学前は福祉課、学校に上がると教育課が担当です。これらの課が連携し、相談者が来たときにスムーズに対応できるようにしていただきたいと思います。考えを伺います。

答弁 今まで、就学指導委員会と特別支援教育推進委員会に対応していましたが、「特別支援教育連絡協議会」を24年度に設置して、その中で連携を取りながら体制強化に努めたいと思います。

Q. 植西議員

鷹栖高校の「居宅介護従業者養成研修3級」の取得が、現在は2級でないという状態でもおぼつかない状態です。2級取得への支援が鷹栖高校の存続にも優位になると思いますが、教育長の考えを伺います。

答弁 鷹栖高校では、1年生のときに、居宅介護の従業者養成研修を行うことにより、人としての豊かさを育てていることが大きな評価をいただいていると思います。

現在、高校では進学や就職の幅を広げるため、2級取得の選択肢を検討しています。町としては、今の居宅介護従業者の養成の応援を続けたいと思っています。存続に向けて北海道と協議をしながら、特色を出し、鷹栖高校に就学していただくような状況をつくりたいと考えています。



鷹栖高等学校

健全な心身の育成

社会教育



鷹栖地区住民センター図書室

Q. 片山議員

読書感想文コンクールに代えて※「ブックラリー」を実施するとあります。長文を書く機会が少なくなっている状況の中、読書感想文は貴重な機会だったと思います。「ブックラリー」は、「書く力」を養う企画になっているのですか。

答弁

一般の方の参加が少なく、学校などでは違う形で行っていることもあり、新年度から「ブックラリー」を実施します。皆さんにもっと多く本を読んでもらうことで、長文を書く力も養えると考えています。



軽スポーツ(卓球)

Q. 木下議員

「生涯スポーツの普及・定着」の関係で、スポーツ推進委員の方を中心に進めていくと思いますが、生涯スポーツとは、どのような競技を意識して進めるのか伺います。

答弁

特に「このスポーツ」ということは考えていません。今の軽スポーツや競技・新スポーツ等も含めた形で考えています。いいものがあれば、スポーツ推進委員の皆さんと普及・定着を図っていききたいと思っています。

Q. 近藤議員

老人大学の関係で、在籍している生徒数が減っていると聞きます。授業の内容を変えていくなど、生徒数増に向けて教育委員会内部ではどのように検討をしているのか伺います。

答弁

大学院生は一気に減ることはないと思いますが、大学生については年度によつて少ない状況もあります。

「老人大学」という名称も含めて、単発的な講義形式がいいのか、年間を通した学校方式がいいのか、十分検討していききたいと思えます。

Q. 坂根議員

「各体育団体や各種団体へ支援をまいります」とありますが、支援の基本的な考え方と、各種大会の際の車輛の配車基準について伺います。

答弁

基本的には、振興補助金を使い、少年団連絡協議会を窓口、用具等の支援をし、大会によっては旅費の支援もしています。

また、バスの利用は、厳密な回数は決めていませんが、可能な限り応援できる配車をしたいと思えます。

※ブックラリー

読書の習慣化を目的に、参加者に目標を定めて読書していただきます。「読書だより」の発行や、イベント実施、読書相談などを計画しています。

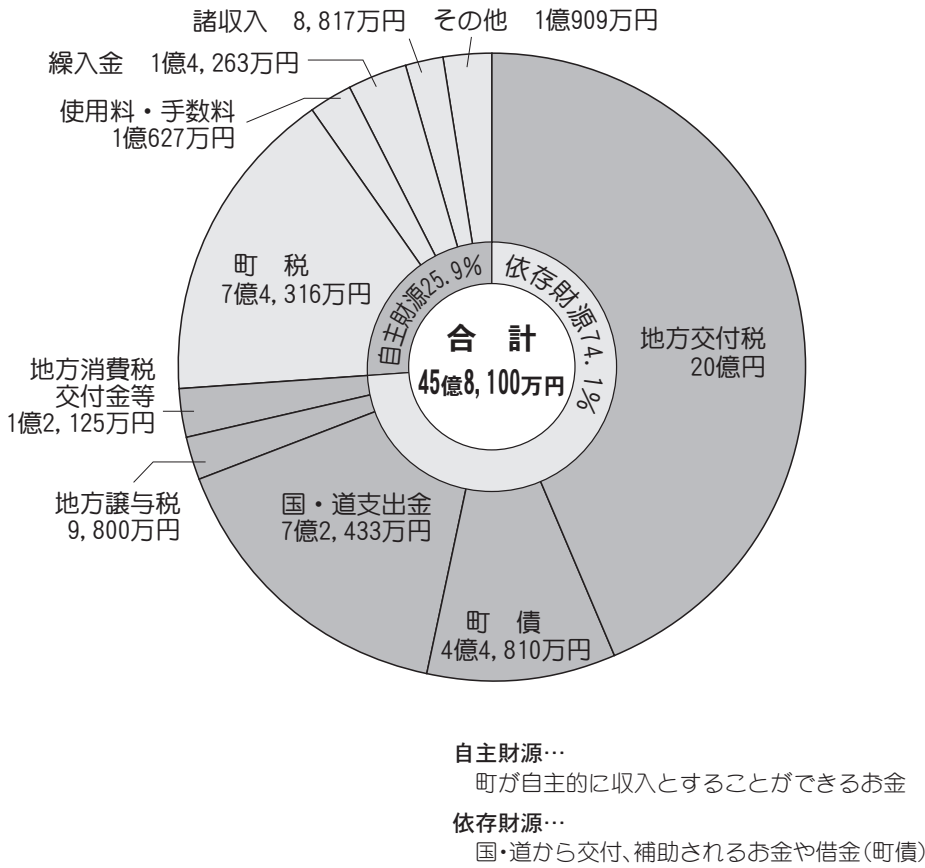
目標達成者には抽選で図書カード贈呈を予定しています。

町政の執行方針と教育行政執行方針は、広報たかす4月号と同時配布の「私たちのまちづくり」に掲載されていますのでご覧ください。

笑顔あふれる あったかい 鷹栖づくり

定例会2日目の3月8日、新年度予算についての提案説明を受けました。審査は、議員全員による予算審査特別委員会を設置し13日・14日の2日間で、予算計上されている事業などについての質疑を行い、原案のとおり可決しました。

歳入



平成24年度 各会計予算額

会計名		予算額
一般会計		45億8,100万円
特別会計	国民健康保険	8億6,981万円
	後期高齢者医療	7,538万円
	介護保険	6億6,745万円
	公共下水道	2億8,283万円
	公平委員会	1,185万円
	計	19億 732万円
企業会計	水道会計	
	収益的支出	1億7,964万円
	資本的支出	1億7,555万円
	計	3億5,519万円
合計		68億4,351万円

主な新規（拡充）事業

総務費

地域情報化推進事業、暮らしのガイド改訂版発行、防犯パトロール車更新、北海道総合行政情報ネットワークの更新、町有財産の活用

民生費

お互い様づくり行動計画の策定、生涯元気づくりの推進、障がい者の就労支援事業（緊急雇用事業）

農林費

農地集積等推進補助事業、ゆめぴりか出荷奨励事業、野菜生産振興対策事業、新規就農者確保対策事業、森林GIS導入、農産加工施設運営の拡充（打栓機購入）

土木費

公営住宅建設事業（そよかぜ団地建替）、河川台帳の作成、河川維持補修事業、近文橋・北野橋・静福橋橋台等補修事業、北野東1丁目1号舗装補修事業

衛生費

一般廃棄物焼却等処理事業、放射線簡易測定機器購入

商工費

観光振興事業（ゴルフ場利用者増加対策事業）、中小企業等育成振興事業の拡充

教育費

メモリアルパーク円形サークル改修事業、北斗地区住民センター暖房設備改修工事、小中学校就学環境支援事業の拡充、読書活動推進事業の拡充、はたちのつどい記念事業の拡充、青少年健全育成事業の拡充

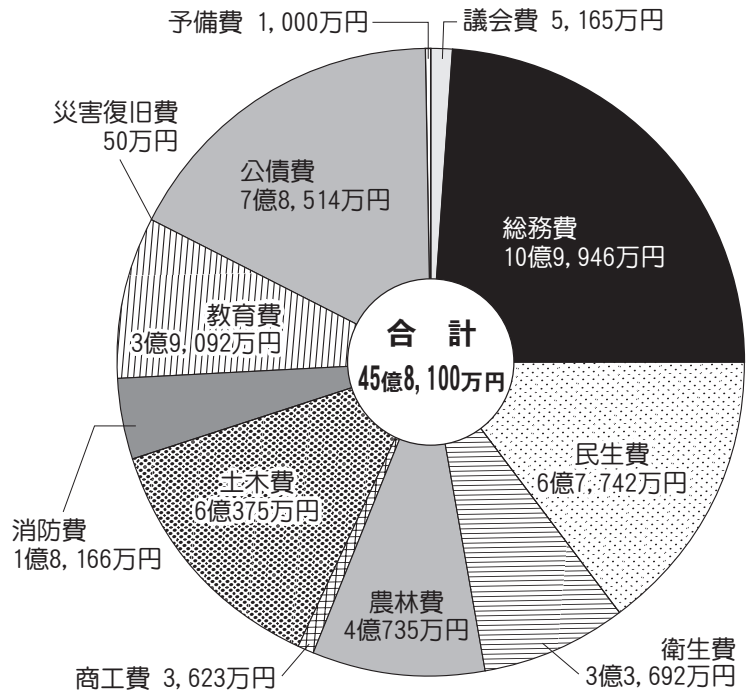
消防費

高規格救急自動車購入

下水道費

雨水排水整備事業、ポンプ場耐震補強実施設計

歳出



総務費

Q: 近藤委員

地域情報化推進事業で「旭川ケーブルテレビ」を利用し、情報網の高速化を図るようですが、初期費用が鷹栖市街地とそれ以外では費用の負担がかなり違います。他町では、全額町が負担しているところが大半ですが、本町では利用者に對する助成がないのか伺います。

総務企画課長 他町では全世帯に、防災・行政情報を流すため、行政が経費負担しているところもあります。が、本町はインターネットの高速通信網を整備する考えです。鷹栖・北野市街地以外は25年度から無線対応を考えています。ただし、無線化の場合は、個別にアンテナ設置が必要なので、将来的には利用率の向上のため助成も検討します。

Q. 中村議員

ゴルフを町の観光産業として位置づけしている中、1号道路の施設案内看板撤去工事費50万円が計上されています。看板が老朽化し危険だからただ撤去するのみで、前向きに新しい看板設置を検討しなかったのですか。

総務企画課長

案内看板は、老朽化が激しく、高速道路に隣接していることから、危険性を考え24年度に取り壊しを考えています。ゴルフ場も含め、各公共施設の案内は誘導板方式を考えていますが、新年度で検討します。



看板（8線1号）

衛生費

Q. 片山委員

放射線簡易測定器を購入予定ですが、測定頻度と結果の公表方法はどのようにしますか。

町民税務課長

毎月役場の前庭で測定のほか、必要な場所で行い、希望があれば貸し出しもします。結果は住民からの問い合わせがあればお答えします。

農林費

Q. 坂根委員

農産加工施設運営事業で、新設の講演委託料の内容と昨年まであった施設整備基金積立金が予算計上されていない理由を伺います。

産業振興課長

新規の講演として、星澤幸子先生に、地場産品と米粉の普及を中心に依頼します。24年度は基金に積立てせず、新たに打栓機の購入を考えています。

Q. 青野委員・藤澤委員・植西委員

農地集積等推進補助金ですが、予算を上回る事態になった場合どうするのか。また、次年度以降も1000円、買主1万円の助成をしていくのか。数年にわたる事業になると思いますが、この額で町内売買が促進され、集積が進むと考えているのか伺います。

産業振興課長

過去の実績から見込んで、1450万円の予算額を計上しています。これを上回る場合、適当な時点で予算の補正をいたします。

また、設定額の変更は、事業を継続する限り、不公平感をもたらすため、考えていません。この事業だけでは集積は難しい部分もありますが、国の事業等を組み合わせ、農用地利用調整協議会と協力しながら、進めていきます。

Q. 植西委員

ゆめぴりか産地化推進事業補助金の150円を、24年度200円以内と単価アップした理由と作付面積はどうなっているか。

また、他品種との奨励の整合性はどうか伺います。

産業振興課長

ゆめぴりかは、北海道が推進しているブランド米で、北海道米高水準食味確立緊急対策協議会で作付面積を決めており、本町では23年は300ha、3万3千俵の実績でした。24年の面積配分は、1割程増えると思います。

ゆめぴりかは、低タンパク値が大きな要件になっていること、収量が他品種よりは若干落ちますし、施設利用等で経費も掛かるため、町としては北海道やJAなどと連動する形でゆめぴりかの生産振興を推進する考えで1俵当たりの補助金単価を50円上げました。

議会報
ひとくち
メモ

質問議員名が「〇〇議員」ではなく「〇〇委員」となっているのはなぜ？

答え：予算は特別委員会で審議しており、質問者は全員委員だからです。

特別委員会とは、特定事案の審査など、必要に応じて設置される委員会のことで、鷹栖町議会では毎年、予算審査の際に設置しています。なお、今年の委員長は副議長（新田健一議員）でした。

Q. 坂根委員

新規就農者確保対策事業の改正で対象者として「東日本大震災の被災者が一定年数以上の定住・営農が見込まれる場合」とありますが「一定年数」とはどれぐらいか。また、どのようにPRするのか。

産業振興課長

おおよそ10年ぐらいをめどに判断していくことと考えています。被災地への積極的なPRは現在では考えていません。

商工費

Q. 大石委員

企業立地推進事業費で、積極的に企業誘致活動を展開するには60万円の予算額で、十分取り組みができるのか。

産業振興課参事

企業信用調査料を前年より増額しており、企業のリストを活用して積極的に工業団地のPRを考えています。

教育費

Q. 木下委員

メモリアルパークの円形サークルの改修工事の概要と4700万円の工事費の内容は。

教育課長

歩道部分と車道部分を分けて、歩道は平板ブロックにして滑らないようにします。車道部分は、アスファルト舗装にして障がい者や高齢者が玄関前まで車で乗り入れできるように安全性を高めます。

車道延長は190m、歩道延長は196mで、雨水排水工事・路盤工事・照明工事・ブロック撤去などで総額4700万円を想定しています。



メロディーホール

Q. 藤澤委員

社会資本整備交付金事業計画の中で、メロディーホールトイレの改修工事は該当しなかったが、町単費での計画は考えているのか。

教育課長

交付金事業は、平成22〜26年度の5カ年の計画で、最初に公園名をリストアップしないと事業採択にならず、施設内の改修は可能性がありませんでした。

当初は、公園のみの協議を北海道と進めてきましたが、トイレ改修も協議できる可能性があり、財源確保のためにも、補助金を利用して25年度の実施予定で計画しています。

Q. 辻本委員

以前に新エネルギー審議委員会、小学校に太陽光発電を取り付けて子どもたちに将来のエネルギーの大切さを考える意義を話し合った経緯があります。その後、太陽光発電がど

のようになったか伺います。

教育課長

2年前に小学校に、太陽光発電について協議をしましたが、特に、中学校は学校の改築整備計画等もあり、その時点では難しいと判断しました。

【特別会計】水道

Q. 神田委員

水処理負担金が5〜6年前まで75円/mでした。今は48・6円/mと安くなっているのに、水道料金が下がらない理由を伺います。

建設水道課長

水道施設・本管等は更新時期を迎えています。借入金もあり、一般会計から繰入れをしながら経営をしています。

平成24年度は水道料金の改定の年であり、審議会の答申では、将来的に強固な水道経営基盤を構築していく考えのもと、料金を下げることにはならなかったものです。



横浜ゴムテストコース

質 問

早急な高速通信網の導入を

答 弁

町内全域の高速ネットワーク化を図る

横浜ゴムのテストコース存続を

答 弁

継続使用へ向け積極的に協力支援をする

大石 隆 議員

質 問

町で導入を考えている光ケーブルによる高速通信網について、今後、どのように整備していくかと考えているのか伺います。

当麻町、愛別町では全域に光通信ケーブルなどを整備。超高速インターネットサービスのほか、地上デジタル放送再送信や全世帯にIP告知端末（情報装置）を取り付け、防災・行政情報等を音声で伝えています。町は整備していくうえで防災・行政情報にどのように活用しようと考えているのか伺います。

答 弁

町 長

現在は、北野市街地のみで、光ファイバーによる高速ネットワークが整備されています。

平成24年度は、鷹栖市街地エリアで、旭川ケーブルテレビ株式会社（ポテト）が光ケーブルの敷設を行い、光回線敷設区域以外は、「無線」によるブロードバンド環境整備を実施することとし、平成25年度から取り組み予定です。防災・行政情報への利活用は、設備投資に多額の費用を要します。町のホームページや広報車で周知活動など、現状で

利用可能な情報伝達媒体を活用します。

質 問

22年前の1989年、横浜ゴム（株）が14線18号に冬季タイヤテストコース「T*MARY」を開設し、スタッドレスタイヤなどの性能テストを開始しました。

横浜ゴムは、町外に通年型の研究施設を新設したい意向であると言われていますが、「T*MARY」の、今後の見通しについて伺います。

答 弁

町 長

現在のところ、横浜ゴムが町外に通年型の研究施設を新設

するとの意向は把握していません。横浜ゴムは23年度も12月からテストを開始し、2月下旬に終わって、来年度も引き続き行うとのことです。町として、今後とも横浜ゴムとの対話を密にし、「T*MARY」の継続使用へ向け、積極的に協力支援を行っていきたいと考えています。

質問

より利用しやすい町営バスの運行を

答弁

バス停留所を移設予定。さらに検討を進める

片山 兵衛 議員



バス停（14線17号）

質問

前回の議会で、現行の町営バスについて、抜本的な見直しが必要ではないかと質問しましたが、再度伺います。

公共交通の維持は、町が住民に対して行うサービスのうちの最も重要なものの一つです。だからこそ町には住民のニーズがどこにあるかをいち早く察知して、対応する責任と義務があるはずですが、そもそも「あったかす」というスローガンの基本的な概念は住民の福利を第一に考えていくということではなかったのでしょうか。

名寄市が昨年11月から開始し、旭川市でもペー

質問

パン地区で試験運行が開始されるデマンド方式など近隣の自治体でも様々な工夫を開始しています。第7次鷹栖町総合振興

計画にも、公共交通の具体的な施策として「総合的な交通体系の見直し」とはつきり記載されています。タクシーチケット方式、有料ボランティア方式など、いろいろな方法は考えられるでしょうが、どうすれば住民の使い勝手のいい公共交通機関が出来るのか、私はまず該当する地域の人たちを交えて、真剣な議論をする機会を持つべきだと思いますが、町長の考えを伺います。

答弁

町として

は、今までに車輛の更新時に小型化にしたり、知遠別線の一部路線で予約運行を開始したり、利用者の皆さんに不便をかける部分もありますが、運行費削減に取り組んでいます。

平成24年度には、知遠別線14線17号以北のバス停留所を、利用者の皆さんと協議して利用しやすい場所に移設を予定しています。さらに、他のすべてのバス停留所の移設も検討していきます。

今後も、既存路線沿線の地域住民の生活路線として、町営バスの運行をしながら、さらに利用しやすい体制を検討し、路線の見直しや予約なども含め、効率的なバス運行を進めていきます。



まちづくり懇談会

質 問

助安町政の3年間を振り返り、2期目は

木下 忠行 議員

答 弁

自己評価は半分、2期目は熟慮のうえ

質 問

今年、町長の任期の最終年です。立候補時に「鷹栖町みらいづくり構想」として、具体的事項と思想的事項の23項目が掲載されています。また、常任委員会の冒頭に、平成24年度予算について「4年間のまとめの編成をした」との趣旨の発言をしました。この予算が執行された場合に、就任当初に考えていた事項がどの程度達成できると自己評価されるのか伺います。

また、一般的には町長の改選年の当初予算は、骨格予算を編成して改選後に補正予算で対応する

方法が多いと思います。

しかし、平成24年度予算を見ると新規事業や事業見直しの案件があり、ほかの事項についても細部にわたって予算編成がされており、本格予算であると考えられます。町長は2期目を念頭に事業の継続や執行を考えていると判断して良いのか伺います。

多くの町民が関心を寄せていますので、現職町長としての思いを明確に答弁してください。

答 弁

町 長

就任当初の町づくりの考えが、どの程度達成できるのかについては、ようやく半分に近づけたのではないかと自己評価します。町民皆さんのご意見、職員の知恵を結集し、取り組みの努力をさせていただきました。達成という結果が出るまでには時間も必要とすることから、進行形のものが多いのも事実です。

次に、骨格予算か本格予算かの質問ですが、私の任期満了が11月4日で、年度の半分以上の時期で

もありませんので、本格予算で編成させていただきました。特に北海道のような自然環境では早めの準備・着手・完了が大切で、事業確定を早めることで国庫補助金・交付金の年度内事業調整も期待できます。

行政運営・町づくりの継続性は意識していますが、4年毎の区切りも自覚しています。2期目についてはもう少し時間をいただき、熟慮の上、お答えしたいと思います。

第1回 定例会

第1回定例会では、3名の議員が一般質問を行い、町長の考えをただした後、28件の議案を審議しました。

議事は、平成23年度の5会計の補正予算、規約の変更、条例の改正および平成24年度の7会計（一般会計、国保特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計、水道事業会計、上川町村等公平委員会特別会計）の予算を審議し、原案のとおり可決しました。

また、3件の人事案件について同意し、閉会しました。

■規約

【北海道市町村総合事務組合規約の変更】

各組織の構成団体の加入に伴う規約の変更です。

■条例

【鷹栖町税条例の一部改正】

地方税法等の改正による一部改正です。

【鷹栖町水道・下水道使用料の助成に関する条例の一部改正】

助成要件の変更（町税等滞納者および水道・下水道料使用料滞納者は対象外とすること）および交付方法の変更などによる一部改正です。

【鷹栖町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正】

【鷹栖町ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正】

【鷹栖町重度心身障がい者等医療費の助成に関する条例の一部改正】

【児童福祉法の改正（知的障害児通園施設の名称廃止）による一部改正】

【鷹栖町体育館条例・B&G海洋センター条例の一部改正】

団体利用時の使用時間帯『午前』『午後』『夜間』の3区分から

時間単位で料金徴収する変更です。

この改正により1時間単位での使用が可能となり、より有効に利用

できます。

【鷹栖町公営住宅管理条例の一部改正】

公営住宅法の改正による一部改正です。

【鷹栖町公民館条例の一部改正】

社会教育法の改正による一部改正です。

【鷹栖町定住促進住宅建設条例の一部改正】

条例の有効期限を平成32年3月31日まで延長する一部改正です。



北野地区の民間アパート

【鷹栖町介護保険条例の一部改正】

平成24年4月1日からの介護保険料額の改正に伴う一部改正です。保険料は基準額で月額4,800円となります。（前期の月額4,600円）

■補正予算 【一般会計】

主な内容は、事業完了見込みに伴う減額補正ですが、総務費で財政調整基金積立金として1億3,295万7千円を増額しました。

【特別会計】
内容は、事業完了見込みに伴う補正です。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	8,011万7千円	46億4,337万4千円	47億2,349万1千円
総務費	1億2,882万9千円	財政調整基金積立金 ほか	
民生費	△789万7千円	障がい者福祉サービス費増額、執行残減額 ほか	
衛生費	66万2千円	国民健康保険税繰出事業増額、執行残減額 ほか	
農林費	△1,750万7千円	各事業執行残による減額	
商工費	44万7千円	中小企業等育成振興事業増額、執行残減額	
土木費	△975万8千円	除排雪対策事業増額、執行残減額	
消防費	△10万7千円	執行残減額	
教育費	△1,055万2千円	執行残減額	
公債費	△400万円	記載利率変更のための減額	
国保	193万3千円	6億4,018万8千円	6億4,212万1千円
介護	△3,621万5千円	6億6,378万7千円	6億2,757万2千円
公共下水道	△235万円	2億2,617万3千円	2億2,382万3千円

議会のうごき

2012. 1. 26～2012. 4. 17

■ 1月

- 26日 経済福祉常任委員会・総務文教常任委員会
(第1回臨時会で提案される議案について)
- 27日 上川町村議会議長会役員会 (旭川市)
- 31日 第1回議会臨時会
議員協議会 (農地集積について ほか)

■ 2月

- 6日 上川中央部市・町議会議長会定例会議 (比布町)
- 14日 陳情:国営農地再編整備事業関係 (東京都)
- 17日 委員長等会議 (平成24年度予算について ほか)
議会活性化委員会役員会 (「地域を語ろう会」について)
- 20日 経済福祉常任委員会
(第1回定例会で提案される議案について ~21日)
- 22日 総務文教常任委員会
(第1回定例会で提案される議案について ~23日)
上川町村議会議長会定期総会 (旭川市)

■ 3月

- 2日 議会運営委員会 (第1回定例会で提案される案件や意見書の
取り扱いについて協議し、会期などを決定)
議員協議会 (介護保険事業計画について ほか)
- 7日 第1回議会定例会(～14日)
議会報特別委員会
- 14日 議会活性化委員会役員会 (次年度の活動計画について)
- 26日 経済福祉常任委員会・総務文教常任委員会
(第2回臨時会で提案される議案について)
- 28日 比布町議会広報特別委員会視察来町
- 29日 議会報特別委員会
- 30日 第2回議会臨時会
議会活性化委員会総会 (次年度の活動計画について)

■ 4月

- 10日 総務文教常任委員会
(第3回臨時会で提案される議案について)
議会報特別委員会
- 12日 道北地域TPP問題を考える講演会 (旭川市)
- 17日 第3回議会臨時会
議員協議会 (震災がれき受入方針について)
議会報特別委員会

■財産の無償譲渡

【旧北斗小学校校舎(14線17号)】

次の目的等で無償譲渡することを議決しました。

・譲渡の目的：障がい福祉サービス事業所として活用するため

・譲渡不動産

①旧北斗小学校用地
10,489.91㎡

②旧北斗小学校校舎・体育館

・譲渡先：社会福祉法人

鷹栖共生会

理事長 島畑 光信

■上川町村等公平委員会委員の選任同意

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

(留任) 太田 悟さん
(美瑛町西町3丁目)

■人権擁護委員の推薦同意

加藤文康さんの後任として、次の方の推薦に同意しました。

(新任) 紺野 弘克さん



(北1条2丁目)

■特別功労者の選考同意

永年、消防団員として町の発展に寄与された方の特別功労者の選考に同意しました。

石田 保さん



(19線15号)

第1回臨時会

1月31日に開催された臨時会において、平成23年度一般会計補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

■補正予算

【一般会計】 総額2,518万5千円の増額補正予算です。主な内容は、大雪による除排雪対策事業と全国中学校スキー大会出場（開催地：音威子府村 選手2名・引率1名）に係る補助金を増額するものです。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	2,518万5千円	46億1,818万9千円	46億4,337万4千円
土木費	2,500万円	除排雪事業	
教育費	18万5千円	全国大会(クロカンスキー出場)参加補助金	

第2回臨時会

3月30日に開催された臨時会において、平成23年度一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算、財産の無償譲渡について審議し、原案のとおり可決しました。

■補正予算

【一般会計】 歳入確定による総額3,501万円の増額補正予算です。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	3,501万円	47億2,349万1千円	47億5,850万1千円
総務費	3,501万円	財政調整基金積立金(中長期的に健全な財政運営を行うために必要な積立金)	

■財産の無償譲渡

【北斗地区・旧希望が丘ロッキーランド(16線17号)】

次の目的等で無償譲渡することを議決しました。

- ・譲渡の目的 障がい福祉サービス事業所として活用するため
- ・譲渡不動産 憩いの丘集会所・便所・炊事場・受水槽
- ・譲渡先 社会福祉法人 鷹栖共生会 理事長 島畑 光信



憩いの丘集会所

第3回臨時会

4月17日に開催された臨時会において、条例の一部改正及び平成24年度一般会計補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

■条例の一部改正……法律の改正による条例の一部改正です。

【鷹栖町税条例の一部を改正する条例】

【鷹栖町都市計画税条例の一部を改正する条例】

【鷹栖町国民健康保険税条例の一部を改正する条例】

■補正予算

【一般会計】……185万円の増額補正予算です。

メロディーホール照明調光操作卓借上料 他

	補正額	補正前の額	補正後の額
(一般会計)教育費	185万円	45億8,100万円	45億8,285万円



前田直樹さん
(11区町内会)

「オオカミの桃」の復興

カントリーサインというものをご存知ですか。これは市町村の境に設置されている、町のシンボルの絵と市町村名が入った標識です。私たちの町、鷹栖町のカントリーサインには、トマトとトマトジュースが描かれています。

その描かれているトマトジュースこと「オオカミの桃」は、オオカミ絶滅危機という見出しが新聞に載ってしまうほど、生産本数が減っている現状にあります。

農産加工品で新たにブランドをつくるということは非常に難しく、ましてや「オオカミの桃」ほどのブランド力を持たせるというのは生半可なことではありません。そのブランド力を失うというのは、鷹栖町にとって多大な損失ではないかと思えます。

トマトブームという追い風が吹いている今年こそ、「オオカミの桃」の復興を目指すにはチャンスな年です。近い将来にカントリーサインが嘘の標識になることがないように、町として長期的な目線での復興戦略を立てていただけることを期待します。

わたしの一言

春耕を前に

若い頃からの夢だった農業者を目指し、レンタルのトラックで引っ越してきたのが昨日のようです。以来3年、一口では言えない様々な出来事がある中、地域の方々の温かい支えがあって今日までやってこられました。本当に良いところにお世話になったと思っております。

また、町の関係者や研修先のお力添えで農業者になることができましたことにも、感謝の気持ちで一杯です。

新規就農から1年を経た感想としては、ただひたすらに無我夢中であったというところでしょうか。このことについては、私が農業を志した理由の一つに、時間を忘れるくらい夢中になれることをしたいということがありましたので、まずは当初の目標はクリアできたのかもしれない。昨日よりも今日が、今日よりも明日がすばらしい。新しい出会い。新しいチャレンジ。新しい明日を自ら拓ける喜びを胸に、開拓農民の血脈を感じながら、春耕の時に備えております。

全道、色々な土地を探してやっと見つけたこの地は、私の終の故郷となりました。



秋山春雄さん
(北維町内会)

あとがき

5月というのに残雪の多い中、皆さんは気を揉みながら春作業に忙しいことと思います。

今定例会では、3名による一般質問の後、平成24年度町政の執行方針・教育行政方針及び町民の皆さんとこれからのまちづくりを進めていくための「一般会計予算及び6特別会計予算」を審議しました。

東日本大震災から1年が過ぎ、今年は何もなく穏やかな年であることを願いたいと思います。

また、「私のひとこと」にご協力くださいました、2名の方に心よりお礼申し上げます。

議会報特別委員一同

■次回の定例会は 6月14・15日の予定です。

鷹栖町議会

議会に関するお問い合わせはこちらへ

〒071-1292
北海道上川郡鷹栖町南1条3丁目
5番1号

TEL 0166-87-2111
FAX 0166-87-2196
mail:gikai@town.takasu.hokkaido.jp